

研究班番号【15】

香りに残る記憶

保健班：大堀 花乃 三藤 優実 西村 奈那香 槌谷 晴夏

要約

本研究の目的は、香りと恋愛の記憶との関係を明らかにすることである。香りを嗅ぐことによって昔の記憶を思い出すことがある。これを、プルースト効果という。調査によって、プルースト効果を経験したことがある人のうち、恋愛に関する記憶を想起したことがある人の割合は3分の1であるとわかった。従って本研究では、香りと恋愛の記憶は深く関係しているということが結論づけられた。

Abstract

The purpose of this study is revealing that relationship between scent and love. Sometimes smelling the scent reminds me of old memories. This is called the Proust effect. The research shows that one-third of those who have experienced the Proust effect have recalled memories of love. This study concludes that the scent and the memory of love are deeply related.

1. 序論

1.1. 研究の背景

“2020年にヒットした曲”で代表の一つに、瑛人の歌う『香水』がある。この曲には、「別に君を求めてないけど横にいられると思ひ出す 君のドルチェ&ガッバーナのその香水のせいだよ」という歌詞がある。このように香りが記憶を呼び起こす現象を経験したことがある人が多い。このことから、香りと記憶にはなんらかの関係があるのではないかと考え、調査した。その結果、香りを嗅ぐことにより、ある時期の記憶や感情が蘇ることをプルースト効果ということが分かった。フランスの小説家、マルセル・プルーストが長編小説『失われた時を求めて』で、主人公が紅茶に浸したマドレーヌを口にした途端、その香りから、懐かしい子どもの頃の記憶を思い出す場面を描いたことから、作者の名前が同様の現象の語源となった。

1.2. 目的

『香水』が恋愛曲であることから、プルースト効果は恋愛に特化しているのではないかと考えた。香水や柔軟剤など、香りを身にまとっていたら魅力的な女性・男性になれるのではないかと。香水をつけることで、異性に自分の印象を残して恋愛に役立てたい。

2. 先行研究

2.1. 先行研究

プルースト効果に関する先行研究として、バラの香りのもとでカードの組み合わせを記憶し、その夜、寝ている間にバラの香りを流すと、目覚めた後に記憶を引き出しやすいという結果がある。恋愛に関係する例としては、昔の彼女がつけていた香水のお店を通りかかると彼女のことを思い出すというものがある。現状として、欧米人女性はまるで化粧のように香水を使用するのに対し、日本人女性はあまり使用しない。毎日使用する人は10人に1人だ。それは日本人が香水に苦手意識を持っているからである。

2.2. 仮説

恋愛には「単純接触の法則」（何度も見たり聞いたりしていると、初めのうちは興味がなくても親しみをもつようになるという効果）が有効だと言われている。しかし、好きな人と頻繁に顔を合わせるのは難しい。そこで役立つのが香水の活用であろう。好きな人に自分の香りを認識してもらえれば、ふとしたときに思い出してもらえる可能性が高くなる。思い出してもらっただけでも「単純接触の法則」は成り立つ。ただし、香りはなるべく普遍的なものにする。上記の先行研究と自分の仮説との共通点は”思い出す”という点である。

3. 研究手法

20歳以上の男女56人にプルースト効果についてのアンケートを実施した。

アンケート内容

- ①性別、年齢
- ②プルースト効果の経験の有無
→経験有りとなされた方への質問
- ③その記憶の時期
- ④香りの記憶
- ⑤その香りに対する当時の印象と現在の印象
- ⑥恋愛に関する思い出かどうか

4. 結果

アンケートの結果より、プルースト効果の経験有りとなされた人の割合が全体の64%だった。その記憶の時期として、最も多かったのが社会人であり、その次に多かったのが高校生だった。経験有りとなされた人の中で、その記憶が恋愛に関する思い出であると答えた人の割合は36.1%だった。これは、約3分の1であるといえる。

プルースト効果を経験 したことがあるか

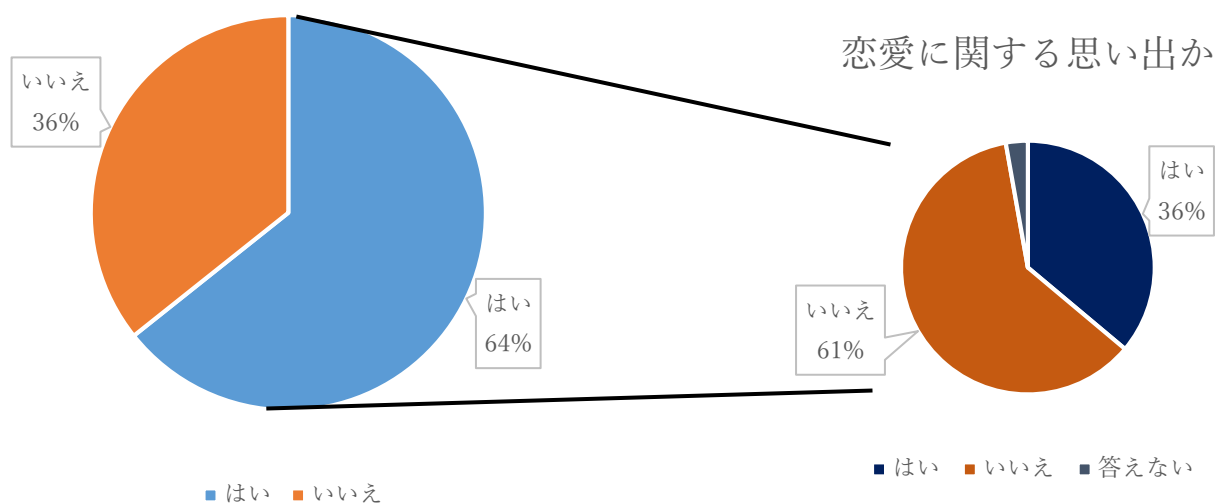


図1

5. 考察

結果より、プルースト効果は恋愛と関係していることが分かった。また、その記憶の時期で高校生と答えた人が社会人の次に多いのは、研究対象に高校教師が多かったことが影響していると考えられる。

6. 結論

結果より、プルースト効果を経験したことがある人の中で、その思い出が恋愛に関係している人が3分の1であったことから、香りと恋愛の記憶は深く関係している。今回、課題として研究対象の母数や世代、役職の偏りにより結果に影響が出た可能性があるため、次はそのような点を改善したい。

7. 参考文献

公益社団法人日本心理学会 (2007). 「心理学ってなんだろう」. 心理学ワールド第36号掲載
ASMARQ (2013). 「香水に関するアンケート調査」. 株式会社アスマーク